



「共に生きる」

校長 杉村 英樹

44日間の夏休み中、子どもたちが健康で明るく過ごすことができ、元気に2学期をスタートできたことをうれしく思っています。子どもたち一人一人が、充実した夏休みを過ごすことができたのは、それぞれのご家庭で健康や交通安全に気を付けていただいたおかげと感謝しております。

第2学期始業式では、次のような話をしました。

自分で決めた2学期の目標が達成できるように、「負けず くじけず あきらめず やらなくちゃ」と自分を励ましなが、チャレンジしていきましょう。もし、チャレンジしてもうまいかなかったり、思いどおりにならなかったりすることがあったら、これから聴いてもらう曲を思い出してほしいと思います。♪明日はきっといい日になる♪

長い2学期ですが、笑い合えたら「いい日になる」、自分が笑えば「いい日になる」と信じ、ありがとうの花をたくさん咲かせて、一日一日をいい日にしていきましょう。

子どもたちが、明日もきっといい日になると思えるよう、明日も行きたい学校づくりに努めていきます。

さて、8月5日に開幕した第107回全国高校野球選手権大会では、各地方大会を勝ち抜いた49校の代表校が登場し、白熱した試合が繰り広げられました。ベスト4まで勝ち進んだ岐阜県立岐阜商業高等学校の横山温大選手は、生まれつき左手指が欠損しているハンディキャップを抱えながらも、誰よりも努力を積み重ね、様々な苦難を乗り越え、守備技術と打撃技術を高め、その実力を周りから認められ、部員78人の超名門で背番号9をつかみ取り、甲子園でも活躍しました。その横山選手の「ほかの子と違うけど、違うって自分では思っていない。手が不自由だけど、ハンディとしない。逆に武器にしている。」というコメントがあります。確かに一人一人に違いがあり、得意なことや不得意なこと、長所や短所がそれぞれあります。子どもたちが、それらの違いを個性と捉え、互いを尊重し合い、共に生きていくことのよさを感じられるよう、そして、夢の実現に向かって努力できるよう、私たち大人は、子どもたちの力を信じ、励まし、支え、見守っていききたいと思います。

「ありがとう」の反対は

教頭 宮内 健作

今年も暑い日が続いています。熱中症にくれぐれもお気を付けいただきたいと思います。

ところで、「暑い」の反対は「寒い」です。「大きい」の反対は「小さい」です。では、「ありがとう」の反対は何なのでしょう。「ありがとう」は、漢字で書くと「有り難う」で、「ある」ことが「むずかしい」、つまり、「減多にない」「めずらしくて貴重だ」ということになります。このように考えると、「有り難う」の反対は「あたり前」ということになります。

実は、普段、「あたり前」だと思っていることの中に、たくさんの「ありがとう」がかくれていることに気付かされます。例えば、朝、目が覚めること、職場や学校で仲間と会うこと、友人に話し掛けると笑顔で返事があったことなど、「あたり前」だと思っていることは、たくさんの人に助けられ、支えられている貴重なことです。「水道の蛇口をひねると水が出てくる」ことも有難いことです。水道の蛇口からきれいな水が出てくるためには、水をためる仕事をしている方、水をきれいにしている方、水が通るところを守っている方など、たくさんの方の助けや支えが必要です。「あたり前」だと思っていることが、実は「あたり前」ではないと思います。

このように考えると、「ありがとう」と思ったり、伝えたりできることは、何か特別なことがあったときだけでなく、日常生活の中にたくさんあると思います。私自身、感謝の気持ちを大切に、どんどん「ありがとう」を伝えていくとともに、「ありがとう」の言葉がたくさん聞こえる北久米小学校になるように取り組んでいきます。

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて

学力向上推進主任 滝本 愛

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とした「全国学力・学習状況調査（小学６年生、中学３年生対象）」が毎年実施されています。今年度は４月１７日に実施され、先日結果が公表されました。

本校では、実施した国語・算数・理科の３教科のうち、国語と理科が全国・県平均を下回っていました。その中でも、国語は「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱いに関する事項」の項目が低いという結果でした。

このことを踏まえ、本校では国語力の向上を学校全体の課題として捉え、学力向上に向けて次のような取組を行う予定です。

（１）児童が主体となる授業展開の工夫

学びに意欲的な児童の育成を目指し、児童が主体となって学習することができるような授業展開の工夫を、教職員の研修や授業実践を通して考えています。２学期以降も継続して授業研究を進めていきます。

（２）朝学習の充実

継続的に学習を進めることができるように、曜日ごとに学習内容を全校で統一し、朝学習を実施しています。２学期では「読むこと」についても焦点を当てていく予定です。

（３）「言葉」に触れる環境づくり

言葉を知る楽しさや、国語に対する意欲につながるような掲示を考え、学年ごとに掲示をしていきます。

学力向上は、継続した学習習慣の積み重ねが重要です。ご家庭でも今一度、学習習慣についてお子様と話し合ってみてください。

「生活リズムについて」

養護教諭 長岡 真紀子

長かった夏休みが終わり、２学期が始まりました。近年の夏は暑さが厳しく、子どもたちは涼しい部屋の中で過ごすことも多かったのではないのでしょうか。日中の活動量が少ないと、夜眠けになりやすく、夏休み明けの生活リズムの乱れが心配されます。２学期も子どもたちが元気に過ごすために、次の３点についてご協力をお願いいたします。

「**早寝早起きをする**」睡眠不足になると、集中力が低下して、けがや事故の原因になることがあります。夜９時頃までに寝るようにしましょう。

「**朝ごはんを食べる**」朝食を食べて登校させてください。脳のエネルギー源のブドウ糖を朝食できちんと補給し、脳と体をしっかりと目覚めさせましょう。

「**軽い運動をする**」運動は質のよい睡眠や体力の向上、生活習慣病の予防につながります。放課後や休みの日に友達や家族と体を動かしましょう。

生活リズムの乱れで体調不良が続くと、熱中症になりやすくなるだけでなく、ストレスを感じやすくなることもあります。規則正しい生活を続けることが、子どもの気持ちの安定にもつながります。